

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

4月17日に6年生に実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

1 調査内容

- 国語，算数，理科（国語と算数は，それぞれ「A問題」と「B問題」に分かれています。）
 - ・ A問題… 主に知識に関する内容で，身に付けておかねば後の学年の学習内容に影響を及ぼすと考えられる内容
 - ・ B問題… 知識を実生活の様々な場面に活用する力に関わる内容
- ※ 併せて，生活習慣・学習意欲・学習方法等に関するアンケート調査も実施されました。

2 結果の概要

(1) 国語A・B，算数A・B，理科

※ 本校の正答率が全国標準と比べて，「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」のいずれであるかを表記しています。

教科	全国標準と比べた正答率	正答率が高い問題	正答率が低い問題
国語A	上回っている。	○本や文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えることができる。	●文中で「品質のカン理」や「セッ極的」などの漢字が他でどう使用されるか理解している。
国語B	上回っている。	○目的に応じて本や文章を比べて読むことができる。	●事実と感想，意見などを区別し，自分の考えを書くことができる。

教科	全国標準と比べた正答率	正答率が高い問題	正答率が低い問題
算数A	上回っている。	○分度器を用いて180度よりも大きな角度を測ることができる。	●二つの量の割合としてとらえられる数量について比べ方や表し方を理解する。
算数B	上回っている。	○合同な正三角形が敷き詰められた模様の中から条件に合う図形を探し出すことができる。	●グラフの特徴を理解し，複数のグラフから読み取ったことを考察したり表現したりすることができる。
教科	全国標準と比べた正答率	正答率が高い問題	正答率が低い問題
理科	上回っている。	○食塩水を蒸発させた時の食塩の量について実験から結論を導く。	●太陽の1日の変化に合わせた光電池の位置設定。

(2) 生活習慣に関するアンケート

よ さ	課 題
○午後10時以降に寝る児童，及びテレビやゲームをする時間が全国平均と比べて少ない。 ○家での学習をしている児童が全国平均よりも10ポイント以上高い。	●今住んでいる地域の行事に参加する児童が全国平均と比べて少ない。

3 総評

国語A・B，算数A・B，理科における全ての領域において理解が深まっています。

国語では，目的に応じて本や文章を読み，内容や構成について理解する力や，要旨や書き手の意図に沿って適切に読み取る力は，全国平均及び福岡市平均よりも上回っています。

しかし，文章から内容を読み取り理解することについては，若干課題も見られます。

算数では，基礎的・基本的な知識・理解を身につけているかについての設問は，正答率が高くなっていますが，B問題では無回答の設問も見られました。

理科では，基礎的・基本的な知識や観察・実験については十分な力を発揮しています。

しかし，モーターの働きと太陽移動と光電池との関連や流れる水の働きの特徴を理解することに課題が見られます。

生活習慣に関するアンケートでは，テレビの視聴時間やゲームの時間などメディアに依存する時間は短く，家や習い事での学習が全国平均及び福岡市平均と比べると長くなっており，放課後の就寝までの時間を学習に多く費やされている傾向が見られました。

4 今後の取り組み

- 「めあて」と「まとめ」を明確にした学習を行うとともに，「物構え」「身構え」「心構え」といった学習規律の定着を図ります。
- 以下の活動を授業に位置付け，子どもの理解を深めていきます。
 - ・ 答えを導き出した過程や自分の考えを言葉，式，図などで表現し説明する。
 - ・ 友達の意見を聞き取って，友達の考えを書いたり，自分の考えと比べたりする。
 - ・ 1時間の学習で分かったことや感じたことを書く。
- 算数においては，ティームティーチングや個別指導などを通して子ども達の習熟の状況に合わせた補充学習に取り組みます。
- 4月に配付した家庭学習の手引きを踏まえ，宿題以外の自主的学習を進めていきます。
- 「読書週間」の取り組みやPTAの図書ボランティアによる読み聞かせを通して，読書活動を進めていきます。
- 「ノーテレビ・ノーメディア」や「早寝・早起き・朝ご飯」の取組を継続し，生活習慣を整えていくようにします。